

ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド —予想分配金提示型—

<5745>

追加型投信/海外/資産複合
日経新聞掲載名: 豪高利回証券

第127期	2023年5月17日決算	第130期	2023年8月17日決算
第128期	2023年6月19日決算	第131期	2023年9月19日決算
第129期	2023年7月18日決算	第132期	2023年10月17日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第132期末	基準価額	10,062円
	純資産総額	2,525百万円
第127期~第132期	騰落率	8.3%
	分配金合計	220円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0574520231017◇

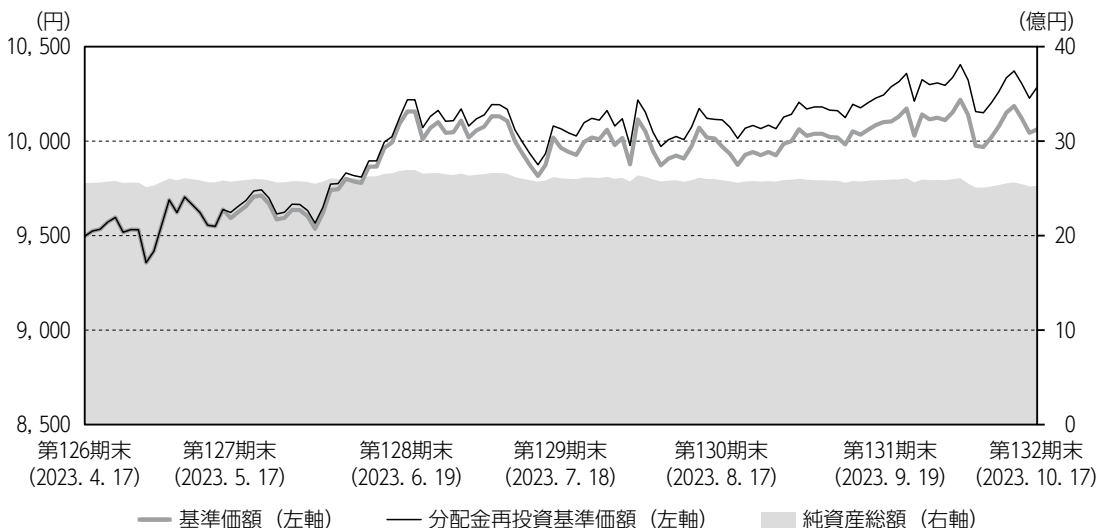
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第127期首：9,497円

第132期末：10,062円（既払分配金220円）

騰落率：8.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資した結果、豪ドル円が上昇（円安）したことや保有銘柄のインカム収入などがプラス要因となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第127期～第132期 (2023. 4. 18～2023. 10. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.593%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,906円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.412)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	59	0.597	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

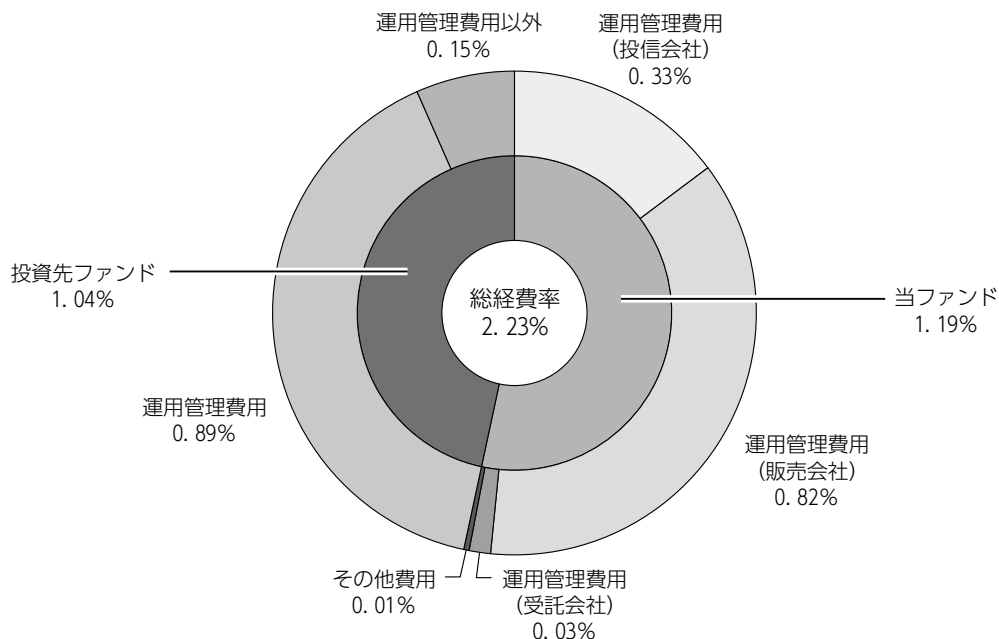
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.23%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月17日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2018年10月17日 期初	2019年10月17日 決算日	2020年10月19日 決算日	2021年10月18日 決算日	2022年10月17日 決算日	2023年10月17日 決算日
基準価額 (円)	8,581	8,049	7,844	9,251	9,731	10,062
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	210	120	120	190	400
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.8	△1.0	19.5	7.3	7.7
純資産総額 (百万円)	6,030	4,301	3,561	3,250	2,858	2,525

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

投資環境について

(2023. 4. 18 ~ 2023. 10. 17)

■ オーストラリア債券市場

オーストラリア債券市場では、10年国債利回りは上昇しました。

オーストラリア債券市場は、当作成期首から、オーストラリアにおける第1四半期のCPI（消費者物価指数）の伸び率が減速したことなどで、長期金利が低下（債券価格は上昇）して始まりしました。2023年7月上旬にかけては、5月および6月にRBA（オーストラリア準備銀行）が利上げを決定したことや欧米の金利上昇により、長期金利は上昇基調で推移しました。8月末にかけては一進一退の展開となったものの、9月に入ると、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において今後の政策金利がこれまで想定されていたよりも高い水準で維持される可能性が示唆されたことを受けて、10月頭にかけて米国を中心に世界的に金利が上昇し、オーストラリアでも金利が上昇しました。その後は、米国の金利低下に連れていったん金利は低下したものの、当作成期末にかけては上昇基調の推移となりました。

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券は、オーストラリアでの堅調な労働市場や底堅い成長見通しなどが投資家心理を下支えし、当作成期を通しておおむね堅調な推移となりました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、オーストラリアにおける第1四半期のCPI（消費者物価指数）の伸び率が減速したことなどで、豪ドルは対円で下落（円高）して始まりました。2023年6月中旬にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）の利上げや、予想を上回る内外の経済指標を受けてオーストラリア金利が上昇し日豪の金利差が拡大したことなどで、豪ドル円は上昇しました。しかし、7月中旬にかけてオーストラリアのCPIが市場予想を下回りRBAによる金融引き締め観測が後退したこと、8月はRBAが政策金利を据え置いたことなどで、豪ドル円は下落基調の推移となりました。9月末にかけては再び上昇基調で推移したものの、10月に入るとオーストラリア金利の低下などから豪ドル円は下落基調で推移し、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドは、「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」の受益証券への投資割合を高位に保つことによって、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

※ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド

流通市場で割安に評価されている証券を発掘するとともに、新規証券の発行市場でも銘柄選択を行います。引き続き、流通市場および新規発行の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。市場の動向を注意深く観察しながら、新しい投資機会を求め姿勢を継続します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 4. 18 ~ 2023. 10. 17)

■当ファンド

当ファンドは、「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本としました。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド

豪ドル建ての普通社債およびハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得をめざして運用を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
	2023年4月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年6月19日	2023年6月20日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月17日	2023年8月18日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月17日
当期分配金(税込み)(円)	30	30	40	40	40	40
対基準価額比率(%)	0.31	0.29	0.40	0.40	0.39	0.40
当期の収益(円)	30	30	40	40	40	40
当期の収益以外(円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額(円)	1,704	1,722	1,722	1,726	1,735	1,737

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 43.83円	✓ 47.72円	✓ 40.13円	✓ 43.78円	✓ 48.83円	✓ 42.73円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	548.45	548.91	549.37	549.99	550.60	551.24
(d) 分配準備積立金	1,142.44	1,155.82	1,173.09	1,172.60	1,175.79	1,183.98
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,734.74	1,752.46	1,762.60	1,766.39	1,775.23	1,777.96
(f) 分配金	30.00	30.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,704.74	1,722.46	1,722.60	1,726.39	1,735.23	1,737.96

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」の受益証券への投資割合を高位に保つことによって、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド

流通市場で割安に評価されている証券を発掘するとともに、新規証券の発行市場でも銘柄選択を行います。引き続き、流通市場および新規発行の状況を注視しながら、特にリスク対比で高い利回りを提供するハイブリッド証券の発掘に注力します。市場の動向を注意深く観察しながら、新しい投資機会を求める姿勢を継続します。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



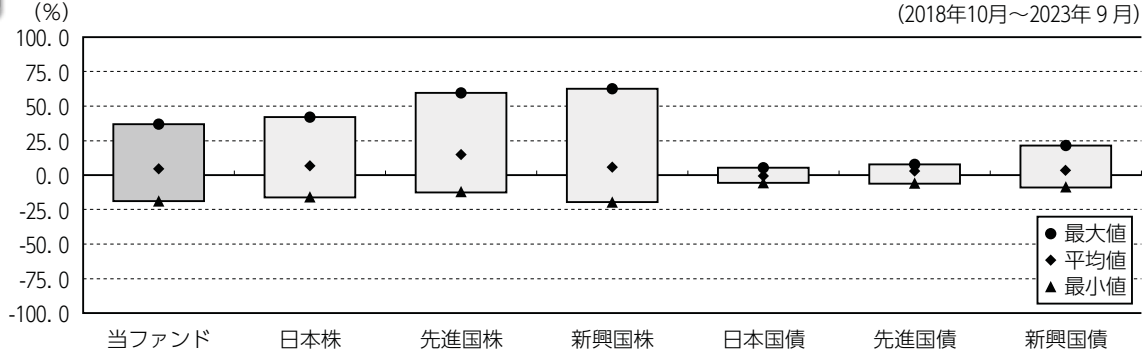
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2012年10月18日～2024年10月17日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」(以下「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンドの受益証券への投資を通じて、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、高利回りの獲得をめざします。</p> <p>②当ファンドは、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンドの投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンドでは、原則として、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額(1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。)が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託のポートフォリオにおける利子・配当収入相当分から経費(外国投資信託の経費を含みます。)を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額(1万口当り)を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合…100円</p> <p>b. 11,000円以上11,500円未満の場合…150円</p> <p>c. 11,500円以上12,000円未満の場合…200円</p> <p>d. 12,000円以上12,500円未満の場合…250円</p> <p>e. 12,500円以上の場合…300円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	37.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	4.6	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5
最小値	△ 18.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



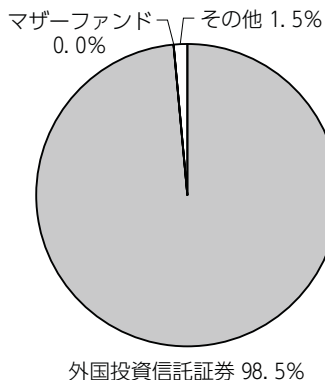
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

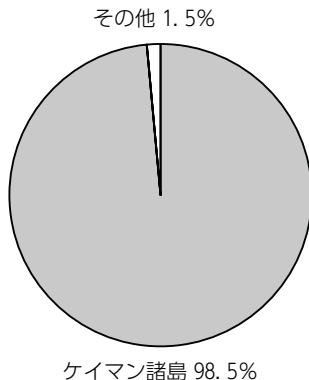
組入ファンド等

	比 率
ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・ セキュリティーズ・ファンド	98.5%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	1.5

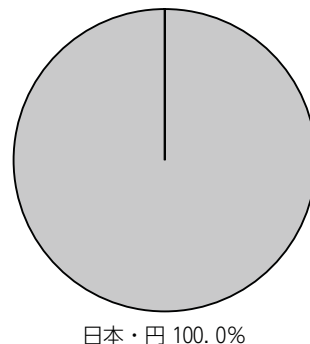
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月17日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末
	2023年 5月17日	2023年 6月19日	2023年 7月18日	2023年 8月17日	2023年 9月19日	2023年10月17日
純資産総額	2,571,151,074円	2,694,327,947円	2,605,406,904円	2,586,334,797円	2,590,952,097円	2,525,459,894円
受益権総口数	2,680,104,729口	2,652,621,229口	2,614,901,623口	2,593,792,485口	2,564,239,876口	2,509,834,130口
1万口当り基準価額	9,593円	10,157円	9,964円	9,971円	10,104円	10,062円

* 当作成期間（第127期～第132期）中における追加設定元本額は7,333,227円、同解約元本額は189,504,291円です。

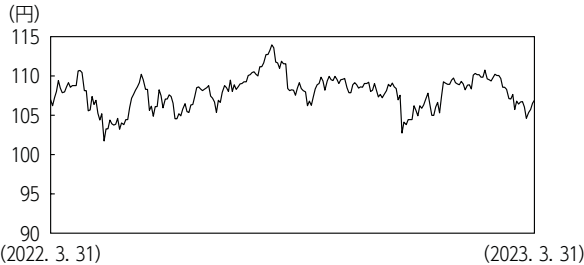
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド

(作成対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日) ※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

■ 1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。
 (注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

■ 1口当りの費用の明細

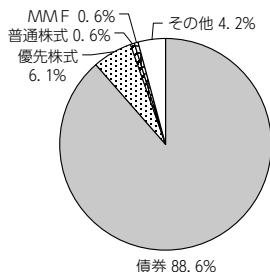
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Australian Unity, Ltd. 5.31% due 12/15/24	豪ドル	6.5%
Brisbane Airport Corp. Pty, Ltd. 4.50% due 12/30/30	豪ドル	4.5
Pacific National Finance Pty, Ltd. 3.80% due 09/08/31	豪ドル	3.5
Nufarm Finance NZ, Ltd. 7.37% - 永久債	豪ドル	3.4
WestConnex Finance Co. Pty, Ltd. 3.15% due 03/31/31	豪ドル	3.2
Societe Generale S. A. 4.88% - 永久債	豪ドル	3.1
Ampol, Ltd. 7.24% due 12/09/80	豪ドル	2.9
AusNet Services Holdings Pty, Ltd. 6.42% due 10/06/80	豪ドル	2.9
Resolution Life Australasia, Ltd. 6.94% due 12/09/35	豪ドル	2.8
National Australia Bank, Ltd. 7.32% - 永久債	豪ドル	2.7
組入銘柄数		60銘柄

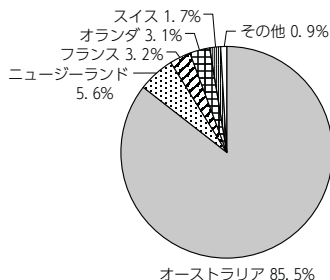
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 資産別配分



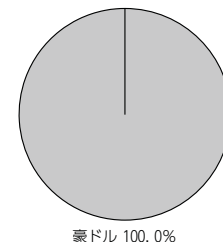
(注) 比率は純資産に対する比率です。

■ 国別配分



(注) 比率は投資対象（債券、普通株、優先株式、MMF）に対する比率です。

■ 通貨別配分



(注) 比率は投資対象（債券、普通株、優先株式、MMF）に対する比率です。

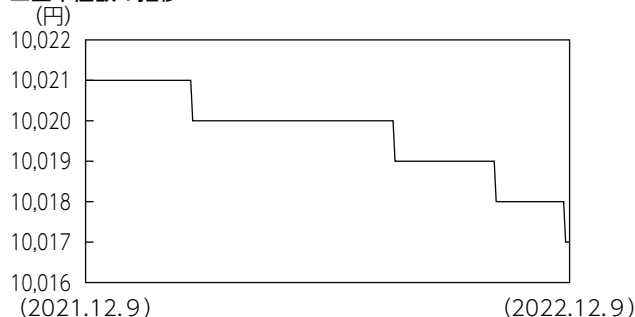
* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

■組入資産

2022年12月9日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。